

IRG テクノロジー、メディア・通信及び生活科学 週間市場調査

2004年10月17日から2004年10月23日の週

目次

週間ハイライト

国際	2
韓国	2
中国	3
台湾	4
香港	4
シンガポール/マレーシア/フィリピン/インドネシア	5
米国 / カナダ	5
欧州	5

この文書は情報提供を目的としており投資助言とは見なされませんし、この文書で言及されている会社の証券の購入や売却を推奨しているとも見なされません。IRG Limited, f/k/a iReality Group Limited, 及びその関係会社はこの文書に記載されている情報の正確性や完全性についていかなる表現も致しません。

IRG テクノロジー、メディア・通信及び生活科学 週間市場調査

2004年10月17日から2004年10月23日の週

週間ハイライト

国際

インターネット

- 1980年代初頭に出現したパソコンと1990年代初頭に出現した携帯電話が生活形態を変革したように家庭内ネットワーキングも生活を変える。早ければ来年にもスマート・ホームが実現しそう。

ソフトウェア

- 日本、中国、韓国は合同でアジア版リナックス OS と関連ソフトウェアを開発。NEC、日本オラクル、レッド・フラッグ等が出資しミラクル・リナックス社を設立しアジアナックスを開発する。

ハードウェア

- 第三四半期の世界のコンピューター売上台数は4690万台で前年同期比9.7%増。市場占有率はデルが首位で16.8%。第二位がHPで15%、IBMが5.6%、富士通が3.6%、東芝が3.4%。

韓国

インターネット

- ネオウィズの第三四半期決算が予想を著しく下回ったことから韓国のインターネット関連企業であるダウム・コミュニケーションズ等の株価は下落。投資家がインターネット株離れをしている。
- 携帯電話のウェブ・コンテンツ・プロバイダーであるワイダー・ザン・ドット・コムは米国のZタンゴを買収。Zタンゴの主要業務はマルチメディア携帯端末とメッセージ用コンテンツ。

モバイル/無線通信

- サムスン電子は世界で初めて500万画素のカメラ内蔵携帯電話を開発。カムコーダーも内蔵している。アサヒ・ペンタックスと共同開発した。シャッター・スピードは最速1000分の1秒。
- LG電子の第三四半期純利益は前年同期比36%増の2億6500万米ドル。売上高は同24%増の54億米ドル、営業利益は同91%増の3億1200万米ドルだった。通信機器の売上が増加したため。
- SKテレコムは携帯電話で株式の売買が可能なサービスを導入。SKの無線クレジット・カード支払いシステムであるモネタ加入者が利用できる。顧客はSKが指定する証券会社に口座を開設する。

IRG テクノロジー、メディア・通信及び生活科学 週間市場調査

2004年10月17日から2004年10月23日の週

中国

インターネット

- リンクトーンが収益予測未達見込みと発表したことを受け、トム・オンラインの株価は第三四半期決算発表を前に下落。トムとメッセージ・サービス大手のICWとの提携破綻も影響している。
- トム・オンラインは今年中に自社ブランド名で簡易メッセージ（IM）ソフトウェアを発売。トムの提携相手はスウェーデンのスカイプ。スカイプのIMソフトウェアは利用者が100万に達した。
- 電子メールで送受金するペイパルのようなサービスが中国で実現するのは時間がかかる見込み。類似企業としては重慶のペイ88が挙げられるが中小商店用送受金のみで個人用ではない。

通信

- ファウェイはスペインのテレフォニカのブラジル及びチリ子会社にルーター供給で契約を締結。ファウェイはシンセンに本拠を置き2003年末で従業員数は22,000人、50カ国に進出している。
- チャイナ・ネットコム（香港）はアジア地域の高速データ通信需要の高まりを捉える。ネットコムは香港とニューヨークで重複上場する計画。ネットコムは海底ケーブル会社を2年前に買収した。
- 情報産業省によるとVoIPに関する法制度が近日中に発表される見込み。法制度が発表されるとインターネット・サービス・プロバイダーは合法的にVoIP業務を遂行することができる。
- 中国第二位の通信機器製造業者であるZTEは中国A株上場企業として初めて香港上場会社となる見込み。主幹事はゴールドマン・サックスで資金調達額は3億5000万米ドルの予定。

モバイル/無線通信

- 通信監督官庁は中国国内での第三世代携帯電話不足を認める。官庁は中国の携帯電話製造会社が早急に第三世代携帯電話の研究開発に乗り出すよう望んでいる。

メディア、娯楽、ゲーム

- 中国政府は若年層が外国のオンライン・ゲームに毒されていることを憂慮し2億4000万米ドルを投じ暴力中心でない思考を刺激する健全なゲームを開発する計画。4年以内に開発する。

IT

- IBMは中小企業用IT製品に注力。IBMは北京に中小企業用研究開発センターを開設した。中国では中小企業数が全体の99%以上を占める。中小企業のIT支出は67億米ドルに上る見込み。

IRG テクノロジー、メディア・通信及び生活科学 週間市場調査

2004年10月17日から2004年10月23日の週

台湾

ハードウェア

- 技術系台湾企業2社が香港で株式を年末迄に上場し1億9300万米ドルを資金調達の見込み。通信ネットワーク機器のフォックスコンとコンピューター外被等製造のジュテン・インターナショナル。

インターネット

- インターネット検索関連の米国の広告会社であるオーバーチャーは台湾で業務を開始。オーバーチャーはヤフー、MSN等と戦略的提携を行い台湾インターネット市場の80%に出稿できる。

香港

モバイル/無線通信

- 香港第三位の携帯電話運営会社スマートーン・テレコミュニケーションズは第三世代系帯電話導入に向け準備。今年中にサービス開始の見込み。第一位のハチソンは既に始めている。
- 政府は無免許で国際電話サービスを運営する外部通信サービス会社(ETS)を取り締まり。毎年多額の本来あるべき収入を失っていると主張する固定電話回線運営会社を懐柔するのが目的。
- ワーフ T&T は家庭向け投資を控え業務用ネットワークのみ構築の予定。家庭向けサービスは関連会社のiケーブルで行う。現在の市場占有率の8%をなるべく速く倍増させる計画。
- スタンダード&プアーズによると PCCW の格付けは香港の固定電話運営会社の中で首位。今後の展開はブロードバンド収入をいかに増加させられるかにかかっている。PCCW の格付けは BBB。

ハードウェア

- 地元企業の多くは靴箱の大きさの外部ディスク保存システムを必要としている。IBM のトータルストレージ DS6000 は容量が最高 67.2 ギガバイト。EMC の DMX800 は 17.5 テラバイト。

ソフトウェア

- シマンテックはデータ管理ソフトウェア市場を開拓。シマンテックは近日中に香港でライブスタート・リカバリー・ラインを発売する計画。サーバーやコンピューターの不具合を回復させる。

メディア、娯楽、ゲーム

- テレビジョン・ブロードキャスト (TVB) は広告料金を平均で 12%値上げする予定。この料金は7月に発表された来年の料金よりも 10%高い。7月には広告需要が改善し 10%値上げしている。

IRG テクノロジー、メディア・通信及び生活科学 週間市場調査

2004年10月17日から2004年10月23日の週

シンガポール/マレーシア/フィリピン/インドネシア

ソフトウェア

- 来年初年から新著作権法が施行にともないシンガポール著作権庁はソフトウェア5社に 11-38%の割引を認める。調査ではシンガポールのパソコンの43%は不法ソフトウェアを搭載している。

半導体

- フィリピンでは2004年に半導体及び電子産業の輸出が少なくとも10%成長する見込み。今年8月迄の8ヶ月間で電子製品の輸出は9.3%増加した。1月から5月迄の新規投資額は3億米ドル。

通信

- シンガポール第二位の携帯電話運営会社の第三四半期純利益は3.6%増の2230万米ドル。第三世代携帯電話導入で今後の利益率は低下する見込み。2004年通年の純利益増益率は一桁台を見込む。

米国/カナダ

インターネット

- **グーグルの新しい検索方法は危険だと見なされている。**もし図書館やインターネット・カフェで新しい検索方法を利用すると次の利用者に個人情報知られてしまう可能性がある。
- **第三四半期の利益が77%増加しイーベイの株価は6%上昇。**売上高は52%増加した。2004年通年の売上高見込みは33億米ドル。来年の予測売上高は42億米ドルで一株利益は1.5米ドル。
- **グーグルの株価は時間外取引で162.15米ドル迄上昇。**グーグルは今年8月に株式を新規公開し公募価格は85米ドルだった。第三四半期の純利益は5200万米ドルで一株利益は0.19米ドル。

モバイル/無線通信

- **モトローラの第三四半期純利益は前年同期の1億1600万米ドルから4億7900万米ドルに増加。**売上高は26%増加し86億2000万米ドルだった。第四四半期の予測売上高は93億米ドル。
- **ルーセント・テクノロジーの決算は2000年以来の黒字。**第四四半期の純利益が前年の9900万米ドルから3億4800万米ドルに増加した。無線通信部門の売上高は75%増の41億1000万米ドル。

欧州

IRG テクノロジー、メディア・通信及び生活科学 週間市場調査

2004年10月17日から2004年10月23日の週

モバイル/無線通信

- 第三四半期の利益は急増したが、来年の需要停滞が見込まれエリクソンの株価は急降下。受注額は前年同期比 3%増の 40 億米ドルだが前期比では 13%減少した。中国からの需要が減少した。